

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

SDGsと「論語と算盤」の共通点 堀内 勉 (多摩大学社会的投資研究所教授)

1. 「会社の目的は株主価値の最大化にある」という株主資本主義が行き詰まりを見せていることはもはや明らかであり、地球という狭い空間の中で、人々がネットワークされた21世紀の世界においては、必然的に自分以外のステークホルダー（利害関係者）との関係性や多様性を意識せざるをえない状況にある。
2. その時に必要になってくるのが、「こうあるべき」という「強い規範」ではなく、相手を思いやることから生まれてくる「弱い規範」としての「共感」である。国連のSDGsは、世界を持続可能性のあるものにするために必要な17項目だが、それ自体には何ら強制力はない。それらを実現するために自分に何ができるのか、各人がよく考えてみようという提案である。
3. そこには、縦型の権威により、共感を欠いたまま何かを強制しようという強い力は働いておらず、横型・水平型に展開する共感の輪によって地球の持続可能性を担保していこうという思惑がある。渋沢栄一の「論語と算盤」も、修身的な意味で「金儲けのために算盤（ビジネス）を学べ」と言っているわけではなく、「世の中をよりよくするためには、論語と算盤の両方が大切なのだ」と言っているにすぎない。

(参考:「週刊東洋経済」2021年7月3日号)

経営者のための危機管理

中小による大企業、中小のままの中小 磯貝 高行 (日経ビジネス編集長)

1. JTB、スカイマーク、毎日新聞社、回転ずしチェーンのカップ・クリエイト。それぞれ業種は違う4社に共通する企業分類は「中小企業」です。新型コロナ禍の影響が長引く中、資本金を1億円以下に減資して「中小企業」になる大企業が増えています。中小企業なら様々な優遇措置を受けられるからでしょう。例えば、赤字企業にも一定の税負担を求める外形標準課税が免除されます。
2. もちろん中小企業になることに法的な問題はありません。ただ素朴な疑問が生まれた。「優遇策を受け続けるために大きくなならない中小企業が日本にどれだけあるのだろうか?」。日本企業の99.7%は中小企業。手厚い保護政策が多くの中企業の成長意欲を奪っているのかもしれない。

(参考:「日経ビジネス」:2021年7月5日号)

経営者のための社会学

コロナ禍で後押しする日本から海外への移住 大前 和徳 (起業家・MBA講師)

1. 暗号資産業界で働く筆者の知人は、ご子息がシンガポールの高校に進学することが決まり、家族と一緒にシンガポールに移り住んだ。仕事は、アメリカ本社の日本支社の仕事を続けている。セキュリティトークンのセカンダリー市場も存在するシンガポールの先進性が彼を引き付けたかもしれない。東京の高層ビルに入居する一流弁護士事務所のパートナーである知人もシンガポールに移り住む予定だ。
2. 将来の子供の教育を考え、ご子息がシンガポールの小学校に合格したことが直接の理由となったが、きっかけは、コロナ禍の中で今後のライフスタイルを見つめ直したことにあった。シンガポールと日本の時差は1時間しかなく、シンガポールで日本のクライアント向けの仕事をし、ミーティングが必要なきときには東京に出張する。シンガポール発東京行きフライトには深夜便もあるので、目が覚めたら朝の東京で仕事を始めることができる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2021年7月3日号)

古典に学ぶ

好人物だが経営手腕のないもの

(解説) それからまた、好人物だけれども、その代り事業経営の手腕の無いものがある。そういう人が重役となって居れば部下にいる人物の善悪を識別する能力もなく、帳簿を査閲する眼識もない。ために知らず識らずの間に部下の者にあやまれ、自分から作った罪でなくとも、ついに救うべからざる窮地に陥らねばならぬことがある。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)